

脳神経内科

Neurology

脳神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉の機能的、器質的障害を対象とする診療科です。疾患としては、脳卒中、神経変性疾患、神経免疫疾患、認知症など多彩です。関西医科大学脳神経内科は、地域の基幹病院として、このように多岐にわたる脳神経疾患の専門的治療を全般的に行う、ジェネラル・ニューロロジストの育成に力を入れています。脳神経系の医師を目指す方はもちろんですが、内科専門医を目指す方も、脳神経内科医療の研修が必須です。私たちは、専攻医の皆さんが、充実した研修ができるようバックアップします。

脳神経内科研修指導責任者
神経内科学講座 教授
薬師寺 祐介



講座サイトはこちら
<https://www3.kmu.ac.jp/neurolog/>



平成8年 佐賀医科大学 卒業
平成14年～17年 国立循環器病研究センター レジデント
平成24年～26年 ロンドン大学 留学
令和2年 関西医科大学 神経内科学講座 教授
主要な専門領域：臨床神経学、脳卒中、認知症学

診察で難病診断に臨む! 脳神経内科医は医療界の シャーロック・ホームズだ!!

- ◆急性疾患から慢性疾患まで地域の脳神経患者のニーズに応えます。
- ◆臨床重視・症例重視の研修で、確かな神経学的診察力が、自然と身につきます。
- ◆大学病院において脳神経内科が脳血管内治療を行っている全国でも有数の講座です。
- ◆研修内容は、希望があればテーラメードも可能であり、個人の希望・熱意により国内・国外留学も可能です。

脳血管障害、神経変性・免疫疾患の臨床研究を推進

研究テーマ

- ◆脳小血管病の病態解明や超急性期脳梗塞に関する臨床研究
- ◆神経変性疾患・免疫疾患の臨床・基礎研究
- ◆パーキンソン病モデル動物を使用した基礎研究

研修内容

- ◆臨床にとって最も重要である、丁寧な病歴聴取と詳細な神経学的診察による高い診断能力を身につけることができます。その他、神経生理検査(筋電図、脳波)や神経画像診断、さらに筋生検、神経生検、神経病理などを学ぶことが可能です。また、脳血管障害に関しては、脳神経血管内治療学会専門医の指導の下で超急性期のカテーテルの研修を行うことができます。



脳血管内治療：超急性期脳梗塞に対するカテーテル治療や頸動脈ステント留置術(CAS)などを実践



Brain cutting：神経難病の病態解明に取り組む



私たちと一緒に脳神経内科を学びましょう



総合医療センター
脳神経内科 診療教授

近藤 誉之

昭和62年 京都大学 卒業
平成9年～11年 National Institute of Neurological Disorders and Stroke, National Institutes of Health

平成28年 総合医療センター 脳神経内科 診療教授
主な専門領域：臨床神経学、神経免疫

総合医療センターでは一つ一つの症例に関して常に話し合い、意見交換をしています。神経内科診療に必要な「考える力」、「調べる力」、「治療方針を決定する力」が育まれる環境を準備しています。

1 研修の目標

- ◆ 神経学的症候や病態の意味を正しく理解し、適切な神経学的所見を取ることができるようになることで、診断が困難な神経疾患を正確に診断する力をつける。
- ◆ 幅広い内科全般の症例を経験し、GeneralityとSubspecialtyが調和した臨床力をつける。

2 研修修了後に得られる資格

- ◆ 日本内科学会専門医
- ◆ 日本神経学会専門医
- ◆ 日本脳卒中学会専門医
- ◆ 日本認知症学会専門医 など

3 研修プログラム概要

	卒後 3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目
研修施設	附属病院、総合医療センターで専門研修		関連病院での専門研修または大学院入学		
学会	内科学会および神経学会に入会	脳卒中学会・頭痛学会・脳神経血管内治療学会など個々の Subspecialty に応じて入会		内科学会専門医試験	神経学会専門医試験
研修体制	上級医と1対1の指導体制	独立した主治医として患者を担当（診療チームに上級医が参加・指導）			目指す Subspecialty に応じた上級医とのチーム診療
研修目標	担当医としての基本的態度の習得	主治医として独り立ち		後進の指導	Subspecialty の確立
	基本的な疾患の診断と治療の習得				
	神経電気生理検査の基本習得	神経電気生理検査の独り立ち			疾患ごとに独力で検査・治療計画を立案
	脳波判読・MRI 画像判読の基本習得	筋生検手技の習得			
脳血管造影検査の基本的な手技習得	脳血管内治療の基本的な strategy の習得		脳血管内治療の術者		

関西医科大学の脳神経内科の紹介動画はこちら(先輩専攻医の活躍の様子は是非ご覧ください) https://www.kmu.ac.jp/residency/about/department_introduction.html

- ◆ 日本神経学会 総会・近畿地方会 ◆ 日本内科学会 総会・近畿地方会 ◆ 日本脳卒中学会学術集会
- ◆ 日本脳神経血管内治療学会学術集会 ◆ 日本認知症学会 など

4 研修後の進路

- ◆ 大学院入学
- ◆ 国立循環器病研究センター・北野病院・天理よろづ相談所病院・湘南鎌倉総合病院などへの国内留学
- ◆ Montefiore Medical Center, Mayo Clinic, University of London, UCLA Medical Centerなどへの海外留学
- ◆ 日本神経学会専門医・日本脳卒中学会専門医・日本認知症学会専門医・脳神経血管内治療学会専門医などの取得

5 臨床研修でローテートが望ましい診療科目

- ◆ 内科全般
- ◆ 脳神経外科
- ◆ 救急医学科

6 評価・支援制度

- ◆ 年1回以上、研修責任者（教授）との面談が設定され、進路や研修内容について相談の場が設けられる。
- ◆ 学会への積極的な発表や参加を支援します。

7 研修指導医

	施設	氏名	職位	専門分野	資格
指導責任者	附属病院	薬師寺 祐介	教授	脳血管障害 認知症患者	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医 日本認知症学会専門医・指導医
指導医	附属病院	金子 鋭	准教授	神経変性疾患	日本神経学会専門医・指導医
指導医	附属病院	國枝 武伸	講師	脳血管障害	日本神経学会専門医・指導医 日本脳卒中学会専門医・指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医
指導医	附属病院	中村 正孝	講師	神経変性疾患	日本内科学会総合内科専門医 日本神経学会専門医・指導医 日本神経病理学会指導医
指導医	総合医療センター	近藤 誉之	診療教授	神経免疫疾患	日本神経学会専門医・指導医